

総務
部長が

先輩職員にインタビュー（第3回）

広島国税局の総務部長が、採用されてから10年目までの国税専門官採用者に、採用時のことについて、またまたインタビューしました。

Q 国税専門官を選んだ理由を教えてください

私は以前から漠然と公務員になろうと思っていた時に、業務説明会で国税専門官の存在を知りました。元々私は地元に残りたいとは思っていなかったもので、転勤で色々なところに行ける国家公務員の方が良いかなと思っていました。



私は、「国家」とか「国税専門官」という響きがカッコよかったのもあります（笑）



私は給料の高さに惹かれました（笑）



私は理学部出身でしたが、学生の時に自分は研究者向きではないなと思い、公務員を目指しました。業務説明会に何回か参加した時に「正直者が馬鹿をみる社会にしない」という言葉に惹かれて国税専門官を選びました。



令和5年度から、国税専門B区分（理工・デジタル系）という試験区分が創設されましたけど、当時B区分があったら、もっと受験し易かったでしょうね。



総務部長

Q 転勤は国税専門官を選ぶ際のネックになりましたか？

私は転勤については、全国転勤ならちょっとアレ（笑）ですけど、中国5県なら何とかいけるかなと思いました。



Q 広島国税局に採用されてからギャップはありましたか？

先程も転勤の話がありましたが、実は転勤は毎回転居を伴うものではないと入ってから知りました。



転居を伴う異動も確かにあるけど、結婚や出産等で生活の基盤ができてくると、人事課もそれなりに配慮してくれますしね。



国税専門官の仕事は調査・徴収がメインなので、強面の男性が多いというイメージでしたが、入ったら気さくな人や女性も多いし、良い意味でギャップはあった気がします。



国税の職場は残業が多いイメージでしたが、定時に帰れることもありますし、残業は少ないと思います。
あと、想像していたよりも「普通の人」が多かったです（笑）
職場の雰囲気はとても良いです。



Q 国税専門官の魅力を教えてください

国税専門官の仕事は、調査・徴収がメインとはなりますが、広島国税局は大きな組織ですから、調査・徴収以外にも色々な仕事があって、自分の適性を必ずどこかで発揮できるよと伝えてあげたいですね。



国税の職場は、教えたがりの人が多いです（笑）



優しい人が多いということで（笑）



仕事でも色々な人がフォローしてくれますし、皆が助け合って仕事をしていくので、女性もバリバリ働ける職場ですね。



このインタビューをご覧になり、国税専門官という職業に少しでも興味をもっていただけたら幸いです。

国税の職場をもっと知りたい方は、業務説明会も開催していますので、是非お気軽にご参加ください。

【広島国税局 人事第二課 試験研修係】

